

提携米通信

2019年3月号・黒瀬農舎

温暖化＝「気候の不順化」……対処が難しい。



中古非常用発電機到着!

男鹿のナマハゲ柴灯（せど）祭りは、蓑をまとい、タイマツの明かりを持ったナマハゲが、夜に深い雪をかき分けて、深山から降臨する幻想的なシーンが圧巻です。過去には、1度雪がほとんどない年がありましたが、その時は、折角の趣が欠けました。

今年は、世界無形文化遺産に指定された初年目の柴灯祭りの年。しかし、祭りの数日前に、雪がすべて消失して心配していました。

幸い、祭りの前日、寒波到来。うっすらではあっても、何とか銀世界になってくれました。

この時の雪も数日で融け、20日過ぎからは、種蒔きを始めようかと思うほどのポカポカ陽気。車の運転中も、暖房を切るどころか、真冬だというのに、車の窓を解放して走る日もあるほどです。

銀行のATMの停電対策用発電機を15万円で買いました。我が家の全電力に丁度の50アンペア容量。新品ならウン百万円クラスだが、20年近く前製の中古。非常用なので20時間程度しか使われていない、機械的には新品同様。

災害で、1,2年続く大停電でも電化生活OK。早速、丁寧に整備し家に据付け配線しました。でも、大災害の確率は限りなくゼロに近いのが実情で、ムダな道楽に過ぎないのですが……。

ところで、個人事業者である私たちの村の人々にとっては、今の時期は、税金の確定申告の最中。

稲作経営の場合、特別な場合を除いて、総売上げ額の2割～3割が自家労賃を含んだ所得になるのが一般的です。

でも今年の確定申告では、ほとんど所得が出ない人が多いと聞こえてきます。

その原因は、お米の値段はやや上がったものの、昨年の不順な天候で、収穫量が2割～3割少なくなり、自動的に売上げ額が2割以上落ち込み、自家労賃分の所得はゼロ前後になったという訳です。

地球温暖化は、単に、平均気温が上がるといふのなら、温暖化に向く品種や、栽培の工夫などで対処の方法もありますが、温暖化は、昨年のような不順な天候に繋がります。被害を受けた昨年の税金申告をしながら、この夏場を心配する声が地元で高まっています。

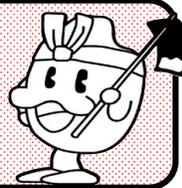
提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

TEL: 0185-45-3088 FAX: 45-2887



★我が農舎は、電話受付の専任スタッフはおりません。日中は倉庫作業等で、留守電受けが多くなります。ご了承ください。

★電話は、日祭日や、夜間もOKです。

★お米のご贈答利用も宜しく願います。

E-mail: akita@kurose.com Web: [提携米 黒瀬農舎](#)

★黒瀬農舎からの返信メールが自動的に迷惑メールフォルダに分類されていることがあるようです。返信のメールが届かない場合は迷惑メールフォルダの確認やメールの設定をご確認下さい。

★宅配便運賃の値上がりに伴い、複数の運送会社を使うことに致しました。そのため、出荷日/サイズ/お届け先によっては、以前(前回)と運送会社が異なることがあります。ご了承下さい。

2月も工作に没頭。汗をかいたお陰で、血圧も正常値に・・・。

いくら暖冬だとはいっても、北国秋田では、冬には、田畑での外仕事はできません。冬は、もっぱら作業場内で機械の整備や機械・道具の修理・改良に汗を流し、健康増進に努めています。

写真は、フォークリフトに、トラクター用のバケットを取り付けた新作機です。



フォークリフト用のバケットは既製品が売られていますが、このバケットのアタッチメントはフォークリフトの本体と別に100万円余り。

使うのは、モミガラをトラックに積み変える時で、一年で3日ほどだけの予定。

そこで、田圃の土運搬に使うトラクター用のダンプキャリアーを、フォークリフトに取り付けるという、先例や見本のない工作を行うことに挑戦した次第です。

トラクター用ダンプは新品で20万円程度。でも、成功する確信がなかったので、中古のダンプを3万円で手に入れ、試作してみました。

トラクターとフォークリフトでは、ドッキングの仕方が根本的に違うため、種々工夫を凝らしました。ワンタッチで脱着でき、500Kg以上の荷重に耐えられるように、厚目のアングルやチャンネルを切断、研削、溶接し何度も装置、金具の作り直しを繰り返して完成。

試しに、除雪に使ってみました。今年は暖冬で、除雪機では飛びにくい濡れ雪。その悪条件下でも、スイスイ除雪できるではありませんか。「除雪」にも活用可能！と判り大儲けの気分。

後は、ダンプの側板をもう少し嵩上げすれば、

3mの高い枠を付けた4トン車にでも、フォークリフトのバケットが5mまで上げられるので、1時間足らずの高能率で、積み込み出来そうです。

今回は、期待を超える作品となりました。このように成功ばかりでなく、失敗も数多くあります。成功した時は勿論、失敗が続いても、実に愉しく、身体も心も健康になります。

さて、ウインドーズ95ができた20年余り前には、農家がネットを使う事例は珍しく、「米」「大潟村」「黒瀬」などで検索すれば、我が農舎のドメイン/kurose.comのホームページしか出ませんでした。しかし、今は一杯です。

このネット情報の急激な充実は、工作や修理する時にも非常に便利になりました。

中古の機械を探すのも一瞬。部品材料を見付けたり、互換品を探すのも瞬くの間。また、表のページの発電機の据付時に、この容量の電力にはどの程度の電線ケーブルが必要なのかなどの基礎理論や材料調達方法もパソコンの前に10分座れば解決です。

車のタイミングベルト、ウォーターポンプやタイヤ交換など、始めて行う時には、まずは、スマホに聞いたり、パソコンに向へば、専門家や職人さんに教わらなくても、作業手順の動画まで貼られていることも多く、誰でも直ぐにできる便利な時代になりました。

ところで「日本人は器用だ。」とよく言われていましたが、昔、アメリカの農村を何度か訪ねた時、トラクターなど巨大な農機具のピストンやベアリングの交換まで自らで行っていたり、フィリピンなど東南アジアでも、農家自らが日本の中古車や農機具を全部バラして器用に改造しているのです。また、その後、欧州、特にドイツでも、器用に機械を修理し、家を自らで新築したりリフォームしていました。（それも、本職よりも豪華で立派に）

私も「器用貧乏」にならないよう気をつけながら、今後も愉しみたいと思っています。

フォークリフト・ダンプ
紐を引けば、ダンピング。
除雪やモミ移動は実に快適。